

学校だより

Vol.

102

2017.4



Contents

- 02 専攻科修了・卒業式告辞
- 04 祝 卒業・修了
- 19 卒業生・修了生の進路
- 20 学生会
- 21 磐陽祭
- 22 高専ロボコン・プロコン
- 23 高専デザコン・ブレコン
- 24 クラブ活動等の結果
- 26 TOPICS
- 29 退職者挨拶
- 30 新任者挨拶
- 31 専攻科の改組



福島工業高等専門学校

第12回専攻科修了証書授与式・ 第51回卒業証書授与式



第12回専攻科修了証書授与式・ 第51回卒業証書授与式 告辞

福島工業高等専門学校 校長 中村 隆行



修了生・卒業生諸君、修了・卒業おめでとうございます。

本日、ここに、多数のご来賓と、修了生・卒業生の保護者の皆様のご臨席をいただき、第12回専攻科修了証書授与式並びに第51回卒業証書授与式を実施出来ますことは、教職員一同、誠に慶びとするところ

であります。ご多用の中、御出席いただきました、御来賓の皆様、並びに保護者の皆様に厚く御礼申し上げます。

本日、本校を巣立つのは、専攻科の、産業技術システム工学専攻35名、及びビジネスコミュニケーション学専攻9名の専攻科修了生計44名、その内、復興人材育成特別コース修了者12名、並びに、本科生として、機械工学科41名、電気工学科40名、物質工学科44名、建設環境工学科44名、コミュニケーション情報学科35名の計204名です。

修了生・卒業生の諸君、諸君が本日ここに晴れて卒業式を迎えることができるのは、これまで、日々、勉学に励み、精進を重ねてきた結果です。諸君のこれまでの努力に敬意とお祝いの気持ちを表したいと思います。また、本日、諸君が晴れてこの卒業の日を迎えることが出来るのは、ご家族の愛情と援助、教職員の熱心な指導のお陰

であります。諸君を育ててくれたすべての方に、感謝の気持ちを持っていただきたいと思います。

修了生・卒業生の保護者・御家族の皆様には、本日、御卒業のお子様を、このように立派に育て上げられましたことに、敬意を表しますとともに、心からお祝いを申し上げます。誠にありがとうございます。

さて、本日、福島高専を巣立つ諸君に対して、私は、次の三つの観点について、その重要性を説明したいと思います。

一つ目は、「持続可能な開発が可能な社会を構築する」ということです。英語では、サステイナブル・ディベロップメントと言います。将来の世代のニーズを満たしつつ、現在の世代のニーズを満足させる節度のある開発が重要であるという概念です。わかりやすく言うと、子や孫の代につけを残さない開発ということもできると思います。この概念は、二十年ほど前に、国連で提唱されたもので、これまで、国連が中心となって進められてきたものです。一昨年には、2030年までに達成すべき十七の目標が国連により取り纏められました。具体的には、貧困や飢餓の撲滅、健康や福祉、生涯学習の促進、気候変動への対策、再生可能エネルギーの導入などの具体的な目標が掲げられています。

これらの目標の中には、一国だけではなくて、人類全体について、子や孫の世代を含めて、豊かに、かつ幸せに暮らしていける方策が設定されていると思います。私は、このサステイナブル・ディベロップメントという概念は、世界が注目する福島浜通りの復興を目指す私たちにとって、とても重要な指針だと思っています。こういった考え方にに基づき、福島高専は、昨年、文部科学省などが実施する「サステイナブルスクール」事業に応募し認定されました。今後、これに関連する活動を、福島高専



は、率先して実行していきたいと考えています。

二つ目は、諸君には、これまで何度も言ってきましたが、「世界に活躍する」ということです。グローバル化が進んで世界が小さくなり、様々なことが日本だけでは完結しない時代になってきています。また、ヨーロッパの移民問題、アメリカ合衆国などの政治状況を見てもわかるとおり、世界の国々の関係にも変化が見られてきています。諸君の様に、これからの日本を背負う若者は、世界の人たちと情報交換をし、あるいは様々な国際的な場で、しっかりと意見を伝えることが出来るなど、「世界に活躍する」という観点が、ますます要請されてくると思います。卒業後も、英語の学習を怠ることなく、自ら世界の様々な情報を取ると同時に、世界に対して情報発信するなど、世界を視野に入れて、自らの向上・発展に努めてほしいと思います。

最後の三つ目は、やはり「いわきから」という視点です。これは、「福島から」と言い直すことも出来ると思います。東日本大震災から、六年が経過しました。しかしながら、福島は、福島第一原子力発電所の事故の影響があり、震災復興はまだその途上にあります。福島から離れる諸君も多いかと思いますが、原子力発電所の廃炉には、今後、

数十年かかると言われており、修了生・卒業生の母校となる福島高専は、昨年十二月に実施した「廃炉創造ロボコン」や、廃炉・環境回復に関する研究開発など、原子力安全の課題に対して、今後とも取り組み続け、地域の復興に貢献しているということを忘れないでいただきたいと思います。

本日までに、修了生・卒業生諸君が、本校で身につけた十分な基礎力と、それに基づく創造性と実践性、そして、寮やクラブ活動などで培った人間力は、これからの福島や日本を考え、諸君の夢を実現するために十分なものと信じています。さらに、継続的な努力と目標を成し遂げようとする意志が加われば、これからの人生において、諸君が直面する様々な困難に打ち勝ち、また、様々な試練も克服出来るはずです。

自らに自信を持って、健康に留意し、自らの夢を実現してほしいと思います。諸君の力で、すばらしい人類の未来、日本の未来、地域の未来を築いて下さい。

最後に、諸君のこれからの人生が、幸多いものであることを祈念して告辞と致します。





担任とは何なのか？

機械工学科 5年担任 寺田 耕輔

みなさん、ご卒業おめでとうございます。私が担任をするのは、みなさんのクラスが最初で最後になります。これまで担任の経験もなかったので、みなさんの担任として、この3年間よい指導ができていなかったらと反省しています。

しかし、一方では、私自身の学生時代をふりかえると、担任の指導をほとんどあてにしていませんでした。必要な情報は、担任以外からでも入ってくるので、幼稚園から高校までずっと担任はいない方が良くらいに思っていました。大学時代も名目上の担任の先生はいたのですが、何を指導していただいたのか全く記憶にありません。だから、私が良くない担任であったとしても、間に合っていたのではないかと考えています。

担任とは何なのか？なくても良いのでは？と

いった議論は、教育論としても難しい課題ではないでしょうか。しかし、この担任不要論者の私が、みなさんのクラスの担任をすることになったのは皮肉な話ですが、良い担任ではないにしても、私がこの3年間担任業務を遂行するためにたいへん苦労したことは事実です。日常の連絡業務、学年学科行事の引率、就活や進学のための面談、推薦書作成など、多くの時間を費やして苦しんでいました。

しかし、卒業していくみなさんの今後の躍進のための一つの踏み台くらいにはなったかと思えば、このような苦労はたいしたものではなく忘れ去られて良いものなのでしょう。これからのみなさんのご活躍をお祈り申し上げます。

悔いが残る 5年間でした。 曾田隆二	とても充実した 5年間でした。 みんなありがとう!! 吉田光義	充実した楽しい 5年間でした。 みんなありがとう!! 安藤 巧	最高に楽し かった!!今まで ありがとう!!! 菊池 洋輝	5年間楽しかった です。 ありがとうごさ いました。 木村龍太
辛いこともあった けど、みんなのおかげ で楽しく過ごせた よ! ありがとう! 齋 田 龍	思い出をたくさん 残せた。充実した 5年間、楽しかった! みんなありがとう 井上壮太	みんなのおかげで なんと卒業できま す。5年間ありが とうございました。 荻野 康平	このクラスで過 ごせたよかったです!! またどこかで 会いましょう ありがとう。山崎貴文	留年しかけた時もあ ったけど 5年間楽しかったです。 ありがとうございました!! 川代 大輝
5年間楽しいこと ばかりでした! みんなありがとう! 佐藤利紀	とても濃い5年間を 過ごしました。とても 楽しいクラスでした。 みんな5年間ありがとう! 小浦 恭平	5年間楽しく過 ぎました。 ありがとう! 猪狩卓也	留年して途中から 入ったクラス、 仲良く楽しくやら せて頂き ありがとうございました!!! 橋本雅弥	卒 業 した い、 根 本 嘉 明
5年間色々とお世話 になりました。 楽しかったです! ありがとう! 鈴木翔太	5年間とても 楽しかったです! 大竹 克也	とても楽しい 5年間でした。 またどこかで 会おう!! 鈴木大輔	たのしかったです。 さようなら 菅原又遷	とても充実した2年間 でした。 ありがとうございました。 柳沼佑幸
本当の自分を 見つけられた 気がします 5年間ありがとう! 八木田諒	とても 楽しかった 門間 惺弥	みんなが いたから やってこれたよ ありがとう。 廣渡 玲竜	波乱に満ちた 5年間でした。 ありがとう! 宮戸 翔太	みんなのおかげで 5年間満喫 できました! ありがとう! 佐藤大輝
みんなのおかげで 5年間めちゃ楽し かった!! ありがとう!! 坂本 将太	クラスみんな 協力することか 大切だと思いました。 みんなありがとう!! 比佐 真寿美	本当に楽しかった! みんなありがとう! 山口 敦士	この楽しいクラス で過ごせて 楽しかった!! (7) 矢内 智大	ぶっちゃけ楽し かった!! さみ しいぜ!! 泣いた~~~~ 柳井 一穂
牙垢な道じゃま つまずかない 5年間とても楽し かった 早川 健太	お世話になりました。 よき5年間でした! ありがとうございました!! 佐方 歩高	充実した5年間を ありがとう ございました! 永瀬 龍也	機械工学科で このクラスで よかった。 菊池 洋輝	長い学生生活で ありがとうございました 今野 カ斗
数学は 大セ刀 中澤 貴史	とても楽しい5年間 でした!! 皆ありがとう!! 関根 啓太	とても濃い5年間、 本当にありがとう ございました! 阿部 礼	勉強、寮、ロボ ンと充実した5年間 でした。 ありがとうございました!! 山崎 貴文	
一年間楽しかった ありがとう 石井蒼馬		ラーメン 食べた!! 角田		お世話に なりました。 ありがとう ございました 吉田 彦



新たな一步を踏み出す皆さんへ

電気工学科 5年担任 植 英規

福島高専で過ごした学生生活も間もなく終わり、4月からはそれぞれの場所で別々の生活が始まります。この人生の節目に、皆さんはどのような気持ちで毎日を過ごしているのでしょうか。

皆さんの高専生活は、私の授業からスタートしたということ覚えていますか。静かな教室。張り詰めた空気。ピンと伸びた背筋。緊張した顔。机上の教科書。私は今でもはっきり思い出せます。皆さんは今、あの時に思い描いた未来を過ごしていますか。それぞれの高専生活で得たたくさんの経験は、皆さんをどのくらい成長させてくれましたか。

これから皆さんは、新しい出会いの中で、入学当初のあの時と同じように、不安と緊張の日々をスタートさせることでしょう。まずはすべてを学

び成長してやるという意気込みで、社会人としての揺るぎない基礎を固めてください。しっかりした基礎があれば、その上に自分なりの工夫やチャレンジを積み重ねることができるようになります。進学する人たちも同様です。流行りのアクティブラーニングという言葉を使うまでもなく、すべての「学び」は主体的なものだと思います。

3年前、担任としてはじめて受け持ったクラスが、今まさに卒業しようとしています。皆さんのこれまでの成長は皆さん自身の努力もありますが、学校やご家庭などで支えてくださった方々のおかげでもあります。周囲への感謝を忘れず、地道に、そして誠実にそれぞれの人生を歩いていてください。

物質工学科



ありがとう、お元気で。

物質工学科 5年担任 羽切 正英

ご卒業おめでとうございます。

早いもので、私が皆さんの担任となって2年が、1年の化学を担当してから5年が経とうとしています。この5年でめきめき力を伸ばした人、変わらず明るい人、すっかり肝が据わった人、苦労しながらここまでたどり着いた人、寄り道し過ぎた人、いろいろな人がいますが、みんなそれぞれ成長し、この時を迎えているものと思います。

4年生の担任を受け持つ際に、目標の一つ立てました。それは、クラスやクラスの皆さんに何か悪いところ、直すべきところを見つけたとしても、できる限り怒らずに、怒鳴らずに、ひとりひとりの顔を見て諭し、正していこう、ということでした。しかし実際に担任を受け持つと、目標は見事

に崩れ、皆さんを大きな声をあげながら怒って追いつめ、揚げ句に愚痴ばかり吐いている担任になってしまいました。皆さんはどうかわたしを反面教師にして、問題に直面したときも忙しいときも、落ち着いて行動できる、心に余裕を持った大人になってください。

最後に。東日本大震災の年に中学3年生になった皆さんが、震災の影響が残る中で工学の道を目指したこと、その道を信じて高専で5年間学び続けたことは素晴らしいことだと思います。是非誇りに思って、自信を持って、これからの自分の道を進んでください。

楽しい2年間をありがとうございました。

では、お元気で。

5年間皆に迷惑を かけることもあったが 笑って許してくれて ありがとう♪ 坂本 陽	楽しい5年間でした。 色々な道に走っても がんばろう!! 尾形 巧人	5年間ありがとう。 みんなのあゆみで 生を残すことが できました。 中野渡 淳	楽しい5年間 をありがとう! 坂本 隆晃	5年間最高に 楽しかった! とれどれの場所が がんばりましょう! 小野 拓実
5年間お世話に なりました。 ありがとう。 折原 汰一	5年間あったという間 だったけど、とても充実 してました!! 今までありがとう!! 草野 哲也	W inna たいすけ 5年間ありがとう!! 佐川 匠実	R ikujiro クラスモ 楽しかったよ みんなありがとう!! 1 左藤 里佳	J ujisult 5年間でした! ほんとに毎日 たのしかったです!! ありがとう!! 佐藤 朱理
素敵な 人生を 出口 雅希	留年は 財産。 加藤 和志	F ujin 5年間 ありがとう!! 佐川 史弥	OYUO 5年間たっけ の人たちのあゆみで 成長できたと思ってる にありがとう!! ありがとう!! 渡邊 隆也	J 5年間 ありがとう!! 青木 謙
とても楽しくて 充実した毎日でした!! 5年間ありがとう!! 坂下 和香奈	毎日楽しかったです! 今までありがとう!! 松田 歩華	毎日HAPPY 大スキ!! 今泉 沙緒莉	5年間ありがとう!! このクラスで良かった!! 楽しかった!! 佐藤 愛実	5年間ありがとう!! 結構楽しかった!! 学生生活でいい!! 薄井 小百合
楽しい毎日ありがとう!! みんなのおかげでまじだ! それぞれの道で 元気に頑張ろう!! 小川 西季	今までありがとう!! また、同窓会で 会おうね!! 石田 尚人	BINGO FREE	5年間 ありがとう ごさいました! 吉波 匠汰	5年間 たのしかったー! あーというまたたー! ありがとうー! 尾形 祐輔
5年間 ありがとう!! 齊藤 玲子	1年間の人、2年間の人 3年間の人、5年間の人 みんな、いっしょ ありがとう!! 金澤 希平	Stay gold 上 遼野賞	5年間楽しかった!! ありがとう ごさいました! 宗像 萌	5年間楽しく 過ごせました! ありがとう ごさいました!! 海藤 育未
5年間ありがとう!! 毎日楽しい 学校生活でした。 渡邊 麻由	5年間ありがとう!! 毎日楽しい 学校生活でした。 鈴木 真由子	5年間ありがとう!!! とても楽しかったです! また会いましょう!! 松井 萌	楽しい毎日と * ありがとう!! * 5年間が * あっという間でした * * 諏江 なつき *	3年間楽しかった! ありがとうごさいました!! HENG YOUNGUEK
皆仲良く 過ごせて最高 でした! 宮崎 遼	5年間 ありがとう!! 石川 裕太	5年間楽しかった~ おもしろいね~ 片岡 愛	2年間ありがとう!! 超楽しかった! 黒澤 祥	新天地でも それぞれの夢に向かって 頑張ろう!! 衛藤 快
色々な5年間 たっけ 楽しかったです。 ありがとうごさいました。 石川 太陽	楽しかった! あざ、うた! 金子 日向	今まで5年間 ありがとう!! 楽しかったです。 星 柱充	5年間ありがとう!! それぞれの未来に向って 全速前進ヨソロー! 斑目 格哉	5年間ありがとう!! 物質工学科 バンザイ! 宮崎 豪

建設環境工学科



人生の時間

建設環境工学科 5年担任 菊地 卓郎

高専生という10代後半を過ごしたひとつの時が今、終わろうとしています。

自分の年齢を3で割って、その数字を時計に当てはめてください。みんなは大人になったばかりの人生の朝を迎えています。どんな目覚めでしょうか。睡眠は十分でしょうか。朝ごはんはしっかり食べたでしょうか。これから1日が始まります。

人が持っているバックグラウンドは様々で十人十色です。でも、唯一平等なのは時間です。どんな過ごし方をしても、1日24時間、365日の月日が過ぎて、今日という今を迎えています。時は金なりという言葉がありますが、お金よりも時間の方が貴重です。お金は使わなければ減ることはありませんが、時間は何をしなくても減っていきます。足りなくなった時間をお金で買うこともできません

ん。人が生きていくということは減っていく時間を使うということです。人生の時間の中で午前中の過ごし方次第で午後の人生も変わってくるでしょう。かといって、ずっと休みなく人は走り続けることはできません。休んだり、遊んだり、寄り道したり、時間を味わって使ってください。

誰もが思っている「幸せに生きること」は時間をどう使うかだと思います。この先の人生の中で忙しい、時間がないことを言い訳にすることなく、自分で自分の人生を決めて生きていってください。

さぁそれぞれの道へ。

いってらっしゃい！

また、明日な 木津海	5年間 ありがとう! またね!! 阿部美帆	もし、タイムリトルが できるなら、先に この5年間に戻るときは ありがとう! あはす! 安斎正樹	♡♡♡♡ クラスメイトが みんなを助けた! 大好きです♡♡ ありがとう好き!! 葉	みんなという 言葉が絶えず 5年間ずっと楽しかった! 本当にありがとう!! ◎石川桃子◎
みんな ありがとう! じゃあね♡ 石見翔馬	あ、という間 5年間楽しかった!! お世話になりました 早稲葉	もう少し、 一緒にいたかった です。 ありがとう! 木村希	とても楽しい 5年間でした。 みんなありがとう~ 井戸川将人	5年間、テストとか たくさん助けてくれて ありがとう♡ みんなと過ごせて 楽しかった♡ 葉
I love you のみ食ふてね。 キャンパス師悠	みんな5年間 ありがとう!!! 楽しかったです! また会おう! 葉	5年間 ありがとう! お会いする日まで 葉	みんなと出会えて 本当に良かった! 5年間ありがとう 最高の高専生活で した! 藤又香葉	♡♡♡♡♡ たのしかったです ♡♡♡♡♡ ありがとう!! ♡♡♡♡♡ また会う日まで
おつかれ~!! 木村大輝	みんなのことが 本当に大好き!! ありがとう また会おう 小建京	みんなにたくさん 迷惑かけました。 たぶん笑った5年間 でした。国カ町で 観ようね。 バイバイ!! 野 稜	みんな大好き。 日本人最高。 藤又一	5年間 とても楽しかった です!! ありがとう~♡ 藤原日向子
あ、という間 5年間いって 楽しかったです。お世話 阿部美帆	最高の 5年間でした 佐藤翔太郎	ずっと たのしかった 佐藤広樹	まじで たのしかった 佐藤将時	5年間 お世話 になりました! ニギハヤヒと木村の おんたのかわけはなし! 下谷 大
本当に本当に 楽しい5年間でした!! かわいさ天に 回れ夢でござい♡ 鈴木ゆかり	最高の 5年間でした 鈴木拓哉	5年間、ずっと 楽しかったです!! お会いしましょう。 関端史果	このクラスでよかった 卒業しても集まろう 私も... みんなと出合えて 本当によかった... 田代小牧	5年間、意外と 短かったわ! クラスのみんな先生も いい人でした! 田代小牧
5年間ありがとう!! 福島に帰ってきたら 会おうね!! 西内 瑞生	5年間 ありがとう!! みんなお元気で 原 匡彦	俺... みんなと出会えて 本当よかった... 古川 裕基	5年間 おつかれしました (いゝ) 本田将人	いい思い出 ばかりです! ありがとう! 松本崇彦
5年間 とても楽しかったよ! ありがとう 馬目千穂奈	5年間 あ、という 間でしたが、 すごく楽しかった です! 馬目理加	すごく濃い 5年間でした! 最高に楽しかったです! 高専入学よかった! 武藤尚樹	5年間楽しかった! 福岡来たときは一言 かけてたさ!! 飲みまよう! 村上紀康	ずっと夢で 5年間でした。 たくさんたくさん! ありがとう!! 山縣池百花
5年間 ありがとう ごじました。 この5年間は宝物! 山本 龍一	短い間だけど 仲良くしてくれて ありがとう 吉田大輝	ありがとう 四倉 悠介	5年間楽しかった! ありがとう!! 最高でした!!! 藤田顕下	全員卒業



5 コミの皆さんへ贈る言葉

コミュニケーション情報学科 5年担任 田淵 義英

5 コミの皆さん。卒業おめでとう！この3年間、僕が皆さんから教わったことは本当にたくさんあるのに、僕が皆さんにお伝え出来たことはあまりに少なかったように思います。その未熟さを心苦しく思うと同時に、心から皆さんに感謝しています。

この原稿を依頼されたとき、卒業にあたって皆さんにどのような言葉を贈るべきか考えました。たくさんの言葉を考え、悩みましたが、やはり僕が人生で一番大切だと思うことを、贈る言葉としたいと思います。それは、「誠実に、一生懸命生きる」ということです。

人間は死すべき存在です。先人たちの語るところによると、栄耀栄華を極めても、人がうらやむような名声や富を手に入れても、それが死の不安

や苦しみをやわらげてくれるということは、どうやらないようです。してみると、人生の価値を決めるのは、結局のところ死を迎えるときに、自分がその人生を自分自身に誇れるかどうかではないかと思うのです。

だからどうか、カッコいいものや目立つ成果を追い求めるのではなく、ひたすら誠実に、皆さんと皆さんの周囲の人たちを大切にして、一生懸命に生きて欲しいと思います。

また皆さんと会える日を楽しみにしています。

5年間お世話になりました。このクラスで本当に良かったです。  秋山 光一	5年間ありがとうごさいました!! 楽しい記憶ばかりです。 お世話になりました!!  穴澤実佑	このクラスメイトと5年間 過ごせてよかったです。 最高の思い出です。 ありがとうごさいました!!  江上 歩季	5年間すごく楽し かったです!! たくさん思い出さ ましたありがとう!!  遠藤 彩	高専で素敵な 時間を過ごすことが できて良かったです!  大竹 真亜沙
このクラスで5年間 いれて本当に楽しかった。 イベントがある度に思っ 出すんだらうな〜(ゲーム) 皆大好きまた集まりたい!  大友 未来	5年間ありがとう ごさいました!! 楽しいこと大好きな クラスでとても楽しい 思い出ばかりです!!  大橋 星花	いろいろあったけど 楽しい5年間でした! ありがとうごさいました!  林 崇光	沢あってみんなと 2年間いっしょに 過ごせて本当に楽し かった!! みんなありが とうごさいました!  神永 史哉	5年間たくさんの方 に助けていただきま した。5コマ大好きです。 ありがとうごさいました!  園井 美樹
5年間、ありがとう ごさいました! 毎日、楽しく笑っ てすごせたのはみんなの 存在があったからです!!  後藤 莉奈	5コマのみんなの おかげで楽しい5 年間を過ごすことが できました。ありがとう  小針 けすき	素敵な時間を みんなと過ごせ ました!! 大好きです!!  小松 遥	みんなには大変お世話に なりました。楽しかったです! ありがとうごさいました! おれんじ...  小森 慶騎	5年間ありがとうご さいましたー! 楽しいことが 沢山あって素敵な 5年間にしました。  桐原 理奈
みなさんと楽しい 高専生活をすごすこ ができました!! お世話になりました!  佐藤 文也	長いお付き合いで あんなに楽しかった。 毎日 がもっと楽しく、皆が 思い出に残ります。 また地元のみんなと ワイワイしようね!!  佐藤 文也	毎日楽しんで、5年間 あんなに楽しかった!! みんなの思い出は 宝物です。 本当にありがとう!  佐藤 美貴	たのしかったー! すきー! ありがとう!!!  佐藤 莉帆	5年間ありがとうご さいました! 楽しい思い出 たくさんあることができて、 良い人たちにたくさん会えて 幸せでした!  澤田 幸介
みんなとお友達に この5年間、思い出作り できました。お前ら全 員イイ奴だ! ありがとう ごさいます。  志賀 友紀	とて優しくて 最高のクラスでした。 人生で一番濃い 時間だった かな  鈴木 那奈	高専を選んで 本当に良かったです! 最高の5年間でした!  金谷 佑苗	皆に会えて、高専に 入ってホントに良かった!! 楽しい5年間過ご せましたありがとう!!  添田 千晶	みんなと過ごした 5年間は本当に楽し くて思い出です。 ありがとうごさいます!!  高橋 美優
5年間ありがとう ごさいました。 ここまでやって来たのは 皆さんのおかげです。 最高の時間をありがとう!  橘 翔吾	嫌い。んもー嫌い。 5年間、もう一回でも もう2回でもやり直したい。 世界のどこかで また会いましょう。  Chikato	5年間本当に ありがとうごさいました!! とても楽しかったです!! お世話になりました。 本当にありがとう!!  西山 伊也	5年間たくさん お世話になりました。 幸せと楽しい思い出 の時間でした。お 本当に本当にありが とう!!  根津 夏花	皆がいたから ここまで来ました。 5年間ありがとう!!  柴崎 景子
5年間お世話 になりました。 (31) <-  平子 優果	みんなと出会って 本当に良かった。 友達は何の財産 愛してるよ  鈴 依	このクラス、とても 楽しかったです!! たくさん同窓会 したいです!! お世話になりました。 本当にありがとう!!  堀 菜々	5年間ありがとう ごさいました!! みんなにはたくさん お世話になりました!  村上 健	卒業おめでとう! 5年間お世話に なりました! お世話になりました!  山岸 雄策
たくさんくだらない事 をして、たくさん笑っ てとても楽しい学校生活 でした!! またねー!!!!  岩松 未来	5 	C 	I 	S 

産業技術システム工学専攻

生産・情報 システム 工学コース



“もの凄い時代” がやってくる！

生産・情報システム工学コース
コース長 寺田 耕輔

ご卒業おめでとうございます。さて、これから社会人あるいは大学院生としてご活動されるみなさんへ贈る言葉について考え、想いをめぐらせました。在学中のみなさんと私とがいっしょに過ごした時間は、短いものでしたが、学生時代の出来事は、一生記憶に残る印象深いものです。それにふさわしい言葉として、『“もの凄い時代” がやってくる！』と題しました。

昨今のAI（人工知能）とロボットに関する研究開発の進歩は著しく、AI/ロボットによって絵画や小説を創作することも可能であり、企業の経営判断や新商品企画もAIの利用が可能になってきています。囲碁のような複雑なゲームでも、世界トッププロがAIに負け越しています。莫大な情報の学習と自己研鑽によって開発されたAI/ロボットは、多種多様な人間の作業を、これからはどんどんとってかわっていくに違いありません。

現実には、ある企業では1工場だけで数万人の従業員をAI/ロボットに置き換えたというニュースも話題になっています。このような大改革がいたるところで起きてくると、私たちの今の社会体制はすっかり大変貌していくでしょう。過去の常識はまったく通用しない、“もの凄い時代” がもうすぐやってくるのです！

これから社会に出ていくみなさんは、このような“もの凄い時代” をどう生きていくかについて、いろいろ想定し作戦をたて準備しておかないといけません。これからのみなさんのご活躍をお祈り申し上げます。

友人への感謝

生産・情報システム工学コース
2年 吉永 啓汰

福島高専生としての7年間が終わりを迎えたいま、たくさんの思い出がよみがえってきます。

本科低学年の時は、中学校の勉強とは比べものにならない程難しい勉強についていくのが大変でした。しかし、友人と共に助け合いながら知識を身に着け、進級することができました。いま、私が専攻科修了を迎えられるのは友人との助け合いがあったからであるように感じます。もし、勉強で躓いたときにやさしく教えてくれるような友人がいなければ、専攻科修了どころか本科卒業すらできなかったのではないかと思います。決して勉強が得意ではない私に勉強を教えてくれた友人たちにはとても感謝しています。正直なところ、本科に入学して間もない頃は福島高専に入学したことを後悔していましたが、学年が進むにつれて工学の楽しさや周りの友人の大切さを感じ、福島高専に入学してよかったと思えるようになりました。専攻科では、研究センターの生活となったため自ら計画を立てて打ち込まなければならなくなり大変でしたが、社会人になるために必要な能力を身に着けることができたように思います。

素晴らしい友人や熱心な指導をして下さる先生や技術職員の方々に支えられ、いま専攻科修了を迎えられることを嬉しく思います。今後は社会人になり高専生活とは異なる環境で生きることになりますが、高専で学んだことを忘れずに友人を大切にして頑張りたいと思います。本当にありがとうございました。

エネルギー システム 工学コース



修了するみなさんへ

エネルギーシステム工学コース
コース長 伊藤 淳

専攻科修了おめでとうございます。工学系が4コース制になって、初めての修了生となりました。

高専入学から7年という長い年月を経て、記念すべき年に、みなさんは社会に今羽ばたこうとしています。輝かしい未来が待ち受けていますが、社会では順調にいく事ばかりとは限りません。時には大きな困難が待ち受けていることもあります。持ち前の粘り強さと高専で修得した技術や知識を活かし、困難を乗り越えてください。

さて、専攻科での学生生活は、有意義なものだったでしょうか。少人数での学習や実習、出身学科を越えたプロジェクトへの取り組み、長期インターンシップ、研究活動やディスカッションなどを通し、優れた能力にさらに磨きがかかったものと思います。また、学生間の絆もコースや専攻を越えて、より強固になったものと確信しております。

健康に留意して、本科と専攻科で培われた能力を十分に生かし、社会で活躍して行くことを期待しております。

卒業に当たっての思い出

エネルギーシステム工学コース
2年 金丸 允駿

修了を間近に控えた今では、福島高専に入学したことが少し前のことのように、そして専攻科に入学したことはつい最近のことのように思え、時の早さを感じています。

専攻科生活で特に印象に残った出来事は外部での研究発表です。私は研究の外部発表でドイツに行きました。もちろん海外に行くことに不安はありましたが、このような経験はこの先そう多くはないと思い、ドイツでの研究発表を行いました。言葉の壁や、慣れない海外の生活には苦労しましたが、研究発表を通して各国特有の「価値観」や「感覚」による研究や技術開発というものを知りました。学生のうちに海外で研究発表を行ったことで、工学研究に対する広い視野を獲得し、自分を成長させる大きなきっかけになったと思います。

また、共に専攻科修了を迎えた仲間たちとは、学校という括りでは最も長い7年間を共に過ごしてきました。時には意見をぶつけ合い、時には協力し合い、互いを認め合いながら日々を過ごす中で絆を深めたと思っています。

福島高専生活で様々な経験をしてきました。進学先でも福島高専で得た経験を生かして頑張っていきたいと思います。最後になりますが、電気工学科から長い間指導してくださった先生方、共に過ごした友人たちおよび陰ながらに支えてくれた家族に感謝の意を表します。本当にありがとうございました。

化学・バイオ 工学コース



やる気のある人

化学・バイオ工学コース
コース長 車田 研一

贈ることばを書く番が毎年めぐり、いつも思うことは、わたしなどに皆さんに贈れるほどのことは書けないということです。皆さんはちょうどわたしが福島工業高等専門学校へ幸運なことに千載一遇で採用していただいたときに入学されたので、いわば同期生であるということもあり、その想いも今年はさらにひとしおです。からっけつな頭にこびりついた、ちょうど皆さんの年頃だったときのことを頭をかきかき思いだしながら悩んでいます。ほんとうにろくなことが頭に残っていないことを情なく痛感します。さて困りました。

ついついしょっちゅう使ってしまうことばに、やる気、というものがあります。「ホントにやる気あるのか？」などという使われかたをすることばです。「やる気」ほど、数学でならった0-1関数(Heaviside関数)を理解するのによい例はないように思います。やる気がないとほんとうにゼロです。なぜかやる気をだせば、なにかは手応えが残ります。ところが、もっとおそろしいことがあります。その0 or 1ぶりは当人よりも周りで目の端で見ている人たちのほうがよくわかっています。その意味では「やる気あるのか？」という質問はすでに意味を為していませんね！これほどグサリとくる警句はありません。「頭の恐ろしさではない 心臓の恐ろしさ」です(漱石『行人』)。

ちょっとだけ人生振り返ると、誰か自分以外の人の「やる気」に遭遇できる機会は意外と少ないものだと思います。しかしやはりそれではいけないのですね。一定時間自分が生きていて、それが必然的に誰かに見られてしまっているのだから。なんだか理由は知らないけれど、やる気があるね、という人でいたいものです。そんなことしか思いつかない自分がつくづく情ないのだけれど。そして学校というものは、けっしてその方法を教えられないのだけれど。できるだけ0のときが少ない0-1関数でいたいと思いますし、皆さんにこの先会ったときに、皆さんがそんな人であってくれたら嬉しいなと思います。

鍋とユーロと研究と

化学・バイオ工学コース
2年 小野田 崇司

人生の三分の一近くを福島高専という場所で過ごしてきましたが、それももう終わろうとしています。思い返してみると、入学したときクラスに友達が一人もいなかった私にも、高専で過ごすうちに多くの友人ができ、思い出が生まれました。休み時間、休日、震災で不安な時、いつでもくだらないことで笑い、時に鍋を囲んだのはどれも大切な思い出です。学業の面でも、テストの度に分からないことを教えてもらい多くの場面で支えられてきました。私が無事卒業できるのは友人達のおかげだと感じています。

本科卒業後の専攻科では、一層踏み込んだ経験をすることができました。一年生時のインターンシップではフランスに留学するという貴重な経験を積むことができました。知らない土地で不安もありましたが、高専からの友人や現地の人に恵まれ楽しく過ごすことが出来ました。日本では味わえない文化と共に、国境を越えた人の温かみに触れたことは人生の大きな糧になりました。

研究面でも、学会に参加するという貴重な経験をすることができました。糖質を扱う一つの分野でも、様々な種類の研究があり感心することばかりでした。仙台で行われた東北高専が集まるシンポジウムでは、多分野にわたる多くの研究を知ることが出来ました。また、発表者の中から、最優秀賞を頂けたことは大きな研究の励みとなっています。

このような経験を積み成長できたのは、先生方や友人達のおかげです。また家族に支えられていたからこそだと思います。皆さん本当にありがとうございます。



夢にむかって全力投球

社会環境システム工学コース
コース長 齊藤 充弘

みなさん、専攻科修了おめでとう。よい思い出はたくさんできたでしょうか。

「本科で学んだ専門科目について、さらに高度な専門技術として身に着けたい…」、「これまでと変わらない環境の中で、勉学に研究に打ち込みたい…」などなど、みなさんが専攻科を目指した際に、その志望動機として述べていたことです。修了にあたり、今一度、この志望動機、専攻科を目指した際の目標を思い起こし、少しでもそれに近づくことができたかどうか、自己点検してほしいと思います。

あのときは、必死でした。進路を決めたい、専攻科に合格したいと一生懸命勉強をして、面接練習も繰り返しました。その上で、晴れて今日の日を迎えることができたが、これまでは決して順調ではなかったと思います。授業では目の前の課題に取り組むことでいっぱい、研究室では実験や調査がうまくいかなかったり、後輩の指導もあるため自分のことだけを考えていることができなかったり…、帰宅してもやることがあり…と、頭の中ではわかっていても、やるべきことを後回しになってしまっ…という反省もあるはずです。

このようなことは、舞台が高専から職場や大学院に変わるだけで、きっとこの先も続きます。そのようななかにあっても、自身の夢や目標を見失わずに、一生懸命に努力してほしいです。本科の担任から足かけ5年みてきたみなさんであるからこそ、ぜひ聞かせてくれた夢や目標にむかって、大きく羽ばたいてほしいです。それを見続けることを楽しみに、私も夢にむかって全力投球を続けていきます。

感謝

社会環境システム工学コース
2年 近藤 絢乃

卒業を目前として、この道を通して学校に向かうのもあと少しだな、と通学時に寂しさを感じ始めました。普段は何も感じなかった道も、景色も、今はとても愛おしく思えるのです。今から7年前、福島高専に入学しました。そのころは1日がとても長く感じましたが、専攻科の2年間は一瞬に過ぎ、もう卒業です。7年間、楽しかったこと、その反対に辛かったこと、失敗したこと、たくさんありました。色々な感情にいる私でしたが、いつも周りのみんなに支えられ、助けられ、みんなには感謝しきれません。私は、最後の最後に大きな壁にぶつかりました。それは辛く苦しいものでしたが、乗り越えたあとには喜びと達成感が待っていました。逃げずに正面から真剣に向き合った結果、そこには大きく成長した自分がいました。「人生は自分が作るものであり、自分が行動しなければ何も始まらない。行動すれば、する分だけ成長できる。」そのことを最後に強く知ることができました。

終わりになりますが、未熟な私にいつも助言をくださった先生方、たくさんの手を差し伸べてくれた友人、頼れる後輩、そしてこんな素敵な学校に通わせてくれた両親に心から感謝しています。多くのひととの巡り合わせ、出会いを心から幸せに思うと同時に、福島高専で学べたこと、過ごした日々を誇りに思います。あの時、福島高専に入学する道を、そして専攻科に進学する道を選んで本当によかったです。ありがとうございました。

ビジネスコミュニケーション学専攻

ビジネス コミュニケーション学 コース



激動の時代への船出に向けて

ビジネスコミュニケーション学コース
コース長・専攻長 **湯川 崇**

専攻科で修了おめでとうございます。

本科を卒業してから早くも2年がたちましたが、授業、インターンシップ、就職活動と充実した時間を過ごされたのではないかと思います。このたび修了されるみなさんは、在学中に東日本大震災に被災し、大変な状況の中で苦勞して勉学に励んでこられました。その脳裏には学校生活での各種行事を通して経験した楽しかったことや苦勞したこと、これまでに会った人達とのやりとりなどのひとつひとつのできごとが懐かしく思い出されているのではないのでしょうか。

2016年は激動の一年でした。イギリスのEU離脱の国民投票やアメリカの大統領選挙など、直前までの予想がまったく当てにならない事態が立て続けに起きました。今後も先の読めない時代が続くと考えられます。福島高専の教員はみな面倒見がよく、困ったときには親身に相談にのってくれたと思います。今後は、困難に直面しても周囲に頼る人がいないことがあるかもしれませんが、どんなときでも高専および専攻科で身につけた知識や経験を武器に、困難に負けずにそれぞれの持ち味を存分に発揮して乗り越えて行ってもらいたいと思っています。

4月からは社会人としての新しい生活が始まります。専攻科を卒業したみなさんは、どこに行っても通用するような力が身についていると信じています。卒業後の進路は異なりますがこれからも研鑽を続けて、それぞれの分野で活躍していくことを期待しています。

高専で過ごして

ビジネスコミュニケーション学コース
2年 **神尾 真**

コミュニケーション情報学科を4年次編入し、専攻科卒業まで早くも4年が経とうとしています。本科でも専攻科でも素晴らしい4年間でした。

本科では、編入学ということもあり、うまくやっていけるか多少の不安がありましたが、クラスみんなが温かく迎えてくれました。勉強や研究などをする中で、助け合い、みんなと過ごせたことは良い思い出となっています。

専攻科では、9人になってからも、充実した時間を過ごすことができました。クリスマスパーティーや書初め、ピクニックやバーベキューなど、みんなといういろいろなイベントを行い、楽しく過ごしました。また、研究や就活などの苦勞を共にして、乗り越えて、大切な友情を築くことができました。

総じて、落ち着いた雰囲気の中で、勉強することができました。素晴らしい仲間や先生方と過ごす時間の中で人間的にも成長できたと思います。以前よりも明るくなったと思いますし、いろいろな考え方を吸収できたとも思います。また、続けていけば必ずいつか結果が出てくるということも学ぶことができました。

最後になりますが、共に過ごしてきた仲間と、お世話になった先生方、支えてくれた家族に感謝しています。これから、高専を離れますが、高専で得てきたものの糧にして、立派な社会人になれるように励みたいと思います。

平成28年度 卒業生・修了生の進路状況と高専の学生の評価

男女共同参画・キャリア教育支援室 キャリア教育責任者 齊藤 充弘

平成28年度の本科5年生、専攻科2年生の進路決定状況は、下表の通りです。その傾向は近年変わらず、本科5年生では就職と進学割合がおおよそ半々となっており、今年度も3月末までには、ほぼ全員の進路先が決定する見込みです。

この2年間、キャリア教育担当責任者として多くの企業や大学・大学院の担当者と面会し、その都度「希望者や興味がある学生がいる場合には、ぜひ、ご推薦を・・・」ということを言われてきました。売り手市場の就職戦線や少子化に伴う学生獲得競争などが背景にあることもありますが、一番の理由は、高専の学生の評価が高いことにあります。基礎的、専門的な学力があることはもちろんのこと、その応用力や展開力、周囲の人々との協調性やコミュニケーション力の高さなど、仕事や研究に取り組む上での資質が非常に高いことが評価されています。何より、まじめで素直な性

格は、どこに行っても受け入れられ、高く評価されています。やはり、2年にわたり合同説明会や指導講習会を開催したり、外部の会場に引率したりしましたが、その度に、日頃の学内における観察を通してだけではわからない、それぞれの学生のもつ能力や潜在力の高さに驚き、感銘を受けました。私事になりますが、着任当初に先輩教員より、「この学校は、素直でまじめな学生により、もっているんだよ。」と言われた言葉を思い出し、身にしみて感じております。学生の高い評価にあぐらをかくことなく、さらにその資質・能力を高めていくことができるように、教職員の資質もレベルアップさせ、学校としてのシステムを向上させていかななくてはならないと思います。学生の姿・行動より、そう強く感じさせられたキャリア教育支援室として、引き続き学生の活動が順調に進むように祈念し、支援していきます。

本 科 生 の 進 路 (平成29年3月卒業)

() は女子学生

区 分	機械工学科	電気工学科	物質工学科	建設環境工学科	コミ情学科	計
卒 業 者 数	41	40(3)	44(17)	44(19)	35(25)	204(64)
進 学 者 数	18	17(2)	21(6)	25(10)	19(15)	100(33)
就 職 者 数	19	22(1)	22(11)	17(9)	14(8)	94(29)
そ の 他	4	1	1	2	2(2)	10(2)

専 攻 科 生 の 進 路 (平成29年3月修了)

() は女子学生

区 分	産 業 技 術 シ ス テ ム 工 学 専 攻	ビジネスコミュニケーション学専攻	計
卒 業 者 数	35(8)	9(7)	44(15)
進 学 者 数	14(5)	0(0)	14(5)
就 職 者 数	21(3)	8(7)	29(10)
そ の 他	0(0)	1	1

学 生 会



一年間の学生会活動を振り返って

学生会長 建設環境工学科 4年 星 達也

今年度の学生会を運営するにあたり、「循環型学生会」という目標をかかげました。内容は学校と学生間の仲介役を担い、学校運営がうまく循環するようにというものでした。

一年間の活動を振り返ってみると、学生会として学校運営の循環に微力ながら関わることができたと思います。特に学生会と学生間の関係としては、積極的に評議会を開催し、学生会運営の理解を図ることで学生からの反感を抑制し、運営しやすい環境を整えることができたと思います。また、大きなイベントとしては、東北地区高専の学生会役員が集うリーダー交流会の主幹校として企画・運営し有意義な会を開催することができました。

会長として一年間の任期はとても短いものでしたが、納得のいく学生会運営ができたと思います。心残りは多少ありますが、来年度の頼もしい学生会役員たちに託したいと思います。来年度学生会の輝かしい活躍を期待し、会長からの挨拶とさせていただきます。

平成29年度学生会執行部役員選挙結果

役 職	学 年 学 科	氏 名
学 生 会 長	建 設 環 境 工 学 科 3 年	遊佐 和貴
副 会 長	機 械 工 学 科 3 年	小林 由佳
書 記	電 気 工 学 科 2 年	團野 美月
"	機 械 工 学 科 1 年	阿部慎太郎
"	ビジネスコミュニケーション学科1年	満山ひかる
会 計	コミュニケーション情報学科2年	福田くるみ
"	機 械 工 学 科 1 年	鈴木 海渡
"	ビジネスコミュニケーション学科1年	志賀 匠真
会 計 監 査	物 質 工 学 科 4 年	高橋 昂太
"	物 質 工 学 科 3 年	管家 拓巳
"	機 械 工 学 科 1 年	松本安基良
運動部 部 長	建 設 環 境 工 学 科 3 年	乙山 翔太
" 副部長	電 気 工 学 科 2 年	小島 尚樹
文化部 部 長	コミュニケーション情報学科3年	磯上 花音
" 副部長	コミュニケーション情報学科3年	大江 志歩
研究部 部 長	機 械 工 学 科 3 年	塙 哲平
" 副部長	機 械 工 学 科 2 年	国井 陽気

磐 陽 祭



平成28年度磐陽祭開催報告

学生主事補 松江 俊一

磐陽祭を終えて

磐陽祭実行委員長 機械工学科4年 鈴木 聖也

今年度の「磐陽祭」は、11月4日（金）に本祭準備および前夜祭、5日（土）に一般公開の本祭が行われました。本年度は年度当初からエコカップの資源還元（約150kg）や学生教職員による熊本地震の募金活動、献血の功労による厚生労働大臣からの表彰など、社会奉仕活動が顕著でした。その流れを受け、磐陽祭のテーマを「3Rー捨てるのは君の羞恥心だけー」と題し、ゴミを徹底して分別し資源への再利用に回したり、家庭の物を持ち寄りバザーを行い、その益金（38,270円）をいわき市社会福祉協議会を通して募金するなど、これまでになかった社会奉仕的な磐陽祭となりました。今年はゲストの招聘をせず、仮装のど自慢コンテストや宝探しなどの自前の企画をして、学生や一般来場者の皆様にも楽しんでいただけたものとなりました。同時にオープンキャンパスとして各専門学科、専攻科、センターを公開し、楽しみながら高専の学術分野についても広く知っていただくことができ、活気のある磐陽祭となりました。

今年も無事に磐陽祭を開催できましたのは、保護者の皆様、近隣地域の方々、関係機関の皆様のご理解、ご協力によるものです。心より御礼申し上げます。

今年の磐陽祭のテーマは、“3R（Reuse Reduce Recycle）”をテーマとし、どのようにして磐陽祭で3Rの要素を入れようか、実行委員で様々な案を出し合い、準備を進めてきました。

前夜祭では、各学科が出し物に向けて毎日練習している姿が見受けられ、本番ではどの学科もクラスの個性を発揮し、とても楽しいものでした。女装コンテストも行われ、こちらも非常に盛り上がったものになりました。

本祭では、マンネリ化した磐陽祭を変えるべく、今までになかった企画として高専バザーを行いました。またゲストを呼ばず、学生たちで盛り上げたカラオケのど自慢大会をやりました。また、会場にゴミを複数に分別するゴミ箱を設置し、テーマである3Rに沿った企画として一番力を入れたところだったと思います。

今回は実行委員長として、磐陽祭に参加しました。役員同士力を合わせて終始楽しく成し遂げることができ、磐陽祭が終わった後の達成感はすごかったです。磐陽祭は様々な方のご協力があってこそ開催できたものです。実行委員会一同心より御礼申し上げます。



全国高専ロボットコンテスト出場報告

学生代表 鳥羽 祐丘

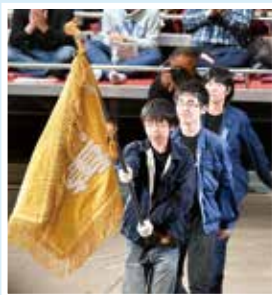


平成28年11月20日（日）、両国国技館にて全国高専ロボコン2016が開催されました。本大会の競技課題は、ロボットが接地してはいけないゾーンや障害物を越え、高さ700mmのステージ（丘）の上にプラスチック段ボールでできたブロックをより高く積み重ねるというものでした。

大会には福島高専Aチームが制作したロボット「TB◎」が出場しました。我々のチームは3台のロボットで構成されており、それぞれのロボットには主にブロックの取得、運搬および積み上げの役割があり

ます。これらのロボットが協力してブロックを運び、丘の上に高く積み重ねることができます。私たちのチームは、高専の体育館で何度も練習と改良を繰り返してきました。しかし、初戦にて本大会で準優勝した大分高専にあたり惜敗しました。

ここまでロボットの製作を続けてくることができたのも、支援してくださった保護者の皆様、学校関係の方々、そして大会を運営してくださった皆様のおかげです。この場を借りてお礼を申し上げます。私は今年で卒業となりますが、来年度は「高専ロボコン30周年」という記念する年となります。後輩達には、私たち以上に頑張ってもらいたいです。



全国高専プログラミングコンテスト参加報告

プログラミングコンテスト指導教員 小泉 康一

平成28年10月8日（土）、9日（日）の両日、伊勢市観光文化会館にて第27回全国高専プログラミングコンテストが開催されました。本校は競技部門のパズルゲーム対抗戦に出場しました。まず一枚の木板が様々な形に切り取られ、30個程度の細かい部品にされます。チームで手分けをして、細かい部品を元の板に戻します。より多くの部品をできるだけ速く元の木版に復元できたチームが勝利となります。正確に復元するために各チームが独自のコンピュータプログラムシステムを作成して競い合うゲームになることが想定されましたが、結局は人間がその場で見て判断して元に戻したほうが早かったようで、コンピュータをあまり活用しないチームの方が上位に上がっていました。本校は一回戦を勝ち抜いたものの、準決勝では成績を伸ばすことができず敗退という結果でした。応援してくださった皆様には御礼を申し上げます。



全国高専デザインコンペティション参加報告

デザインコンペティション指導教員 齊藤 充弘・加村 晃良

平成28年12月17日（土）～18日（日）に高知市において、高専デザコン2016 in Kochiが開催されました。

今回の構造デザイン部門は前回同様、銅線を材料としたメタルブリッジがテーマでした。長さ1mの橋梁模型をつくり、強さ・軽さ・美しさの観点で各チームが競い合いました。本校から2チームが出場し、結果は60チーム中35位と48位でした。上位入賞は果たせませんでしたが、本科1・2年生のみで編成したチームも健闘したことは収穫となりました。

空間デザイン部門では「あたりまえをReスタート」というテーマについて、建設環境工学科の5年生5名が共同で、「足湯でまちも心も身体もぽっかぽっかにすっぺ」という作品を考案・製作して応募しましたが、残念ながら予選を通過することができませんでした。

いずれの部門も、次回の巻き返しに期待したいと思います。



第10回東北地区工業高等専門学校英語スピーチコンテスト報告

英語プレゼンテーションコンテスト指導教員 加藤 明子・石原 万里



10月15日に鶴岡メタボロームキャンパスにて、東北地区の英語スピーチコンテストが開催されました。本校からは、3年コミュニケーション情報学科の猪俣未来さんと、2年コミュニケーション情報学科の石島雫さんが参加しました。猪俣さんはDreamという題で、自分で表現する人間になりたいことを、きれいで、聞きやすい発音で、元よく発表しました。石島さんは、真面目な人柄そのままに My Future Destination というタイトルで夢を語りま

した。二人とも奮闘しましたが、猪俣さんが3位という結果になりました。東北地区からの全国大会出場枠が2名ですので、惜しい結果となりました。英語プレゼンテーションコンテストには、プレゼンテーション部とスピーチ部があり、プレゼンテーション部は3名で1チーム、スピーチ部は1名での発表となります。今年度は残念ながら、どちらも全国大会に出場できませんでしたが、来年度に向けて学生達には頑張ってもらいたいと願っています。



体 育 部

◎平成28年度福島県高等学校新人体育大会 県大会

■バレーボール部 (男子)

2 回戦敗退

■ソフトテニス部 (男子)

団体戦

2 回戦敗退

個人戦

伊藤 隆也 (2E)

2 回戦敗退

猪狩 智也 (2K)

〃

湯澤 亮介 (2E)

新妻 佳祐 (1E)

1 回戦敗退

■ソフトテニス部 (女子)

団体戦

1 回戦敗退

個人戦

福田 七唯 (2I)

〃

青木麻里乃 (2K)

2 回戦敗退

■卓球部 (男子)

団体戦

ベスト 8

ダブルス

谷本 純一 (2E)

山本 崇史 (2K)

ベスト 8

シングルス

谷本 純一 (2E)

ベスト 16

■卓球部 (女子)

団体戦

ベスト 8

ダブルス

岡部あゆみ (2I)

鈴木 梨恵 (2K)

ベスト 16

シングルス

岡部あゆみ (2I)

ベスト 8

〃

鈴木 梨恵 (2K)

ベスト 16

■バドミントン (男子)

団体戦

2 回戦敗退

ダブルス

川音 裕也 (2M)

門馬 捷太 (2M)

1 回戦敗退

〃

吉田 索 (2M)

栗木 智哉 (2M)

2 回戦敗退

シングルス

川音 裕也 (2M)

2 回戦敗退

〃

吉田 索 (2M)

3 回戦敗退

〃

門馬 捷太 (2M)

2 回戦敗退

■バドミントン (女子)

団体戦

ベスト 8

ダブルス

菅野 日和 (2C)

江尻 彩菜 (2I)

2 回戦敗退

〃

川音みのり (1B)

大内 梨江 (1M)

3 回戦敗退

シングルス

菅野 日和 (2C)

1 回戦敗退

〃

川音みのり (1B)

2 回戦敗退

■弓道 (男子)

個人戦

高橋 晃樹 (2K)

準決勝進出

藤澤 優 (2M)

準決勝進出

■弓道 (女子)

個人戦

松本 佳苗 (2I)

予選敗退

佐川菜々香 (1B)

予選敗退

◎第21回東北高校新人陸上競技選手権大会

走高飛

秋野 涼 (2E)

第19位

やり投

五十嵐拓海 (2E)

第 8 位

棒高跳

上坪千華子 (2I)

第 1 位

◎第71回国民体育大会

少年男子 B

走幅跳

末永 淳 (1M)

第 4 位

少年女子共通

棒高跳

上坪千華子 (2I)

第10位

卓球成年男子団体

安齋 正樹 (5K)

1回戦敗退

◎第45回東北学生陸上競技選手権大会

400H

鈴木 陵太 (4E)

第3位

三段跳

今野 和樹 (4K)

第8位

やり投

渡邊 隆也 (5C)

第4位

5000m

磯上 健太 (4M)

予選敗退

3000mSC

磯上 健太 (4M)

予選敗退

◎第10回日本ユース陸上競技選手権大会

棒高跳

上坪千華子 (2I)

第13位

◎第32回日本ジュニア陸上競技選手権大会

200m

古和口 廉 (5K)

第 8 位

400m

古和口 廉 (5K)

準決勝敗退

◎第40回NHK福島県クラブ対抗ソフトテニス大会

予選敗退

◎第43回福島県クラブソフトテニス選手権大会 (ジュニアの部)

兼第32回東北ソフトテニス選手権大会選手選考会

男子ダブルス

小島 尚樹 (2E)

1 回戦敗退

〃

長谷川俊輔 (2C)

1 回戦敗退

〃

若松 大雅 (2E)

1 回戦敗退

女子ダブルス

鈴木 琴音 (2C)

1 回戦敗退

〃

阿部 優香 (2I)

1 回戦敗退

〃

小林 夢奈 (1C)

1 回戦敗退

小野樹りあ (1C)

1 回戦敗退

◎第36回福島県春季選抜ジュニアシングルス選手権大会

兼第24回東北春季ジュニアテニス大会予選会

男子シングルス

若松 大雅 (2E)

1 回戦敗退

◎第29回二本松の菊人形杯卓球大会

男子ダブルス

佐藤 瑞樹 (1CB)

第 2 位

〃

桑嶋 隆 (長岡技大・0B)

第 2 位

〃

青木 勇斗 (2ES)

第 3 位

〃

矢内 智大 (5M)

第 3 位

〃

吉田 孝信 (3E)

ベスト 8

〃

佐々木大翔 (3C)

ベスト 8

〃

加藤 翔 (3E)

1 回戦敗退

一般女子ダブルス

猪狩 葉菜 (4I)

第 1 位

〃

高橋 百花 (3I)

第 1 位

〃

佐藤 泉 (4I)

第 2 位

20歳以下男子シングルス

矢内 智大 (5M)

第 3 位

〃

加藤 翔 (3E)

ベスト 8

〃

吉田 孝信 (3E)

3 回戦敗退

〃

猪狩 大仁 (3E)

予選リーグ敗退

〃

佐々木大翔 (3C)

予選リーグ敗退

20歳以下女子シングルス

佐藤 泉 (4I)

第 2 位

〃

猪狩 葉菜 (4I)

第 3 位

〃

高橋 百花 (3I)

ベスト 8

〃

小林 千莉 (3K)

1 回戦敗退

◎平成28年度東京卓球選手権大会福島県予選会

男子シングルス

谷本 純一 (2E)

3 回戦敗退

〃

加藤 翔 (3E)

予選リーグ敗退

女子シングルス

高橋 百花 (3I)

ベスト 8

〃

大浦 悠 (5K)

2 回戦敗退

〃

佐藤 泉 (4I)

2 回戦敗退

〃

猪狩 葉菜 (4I)

1 回戦敗退

〃

鈴木 梨恵 (2K)

1 回戦敗退

〃

岡部あゆみ (2I)

予選リーグ敗退

女子ダブルス

大浦 悠 (5K)

予選リーグ敗退

〃

佐藤 泉 (4I)

ベスト 8

〃

猪狩 葉菜 (4I)

ベスト 8

〃

高橋 百花 (3I)

ベスト 8

〃

岡部あゆみ (2I)

ベスト 8

〃

鈴木 梨恵 (2K)

ベスト 8

◎平成28年度全日本卓球選手権大会 (一般・ジュニアの部)

男子シングルス

谷本 純一 (2E)

1 回戦敗退

〃

安齋 正樹 (5K)

1 回戦敗退

◎第5回秋期東北地区高専硬式野球交流戦

仙台高専名取 7-2 福島高専

一関高専 9-5 福島高専

◎第24回東北高等学校新人水泳競技大会

男子

100mバタフライ	吉田 拓実 (2K)	第6位
200m平泳ぎ	佐々木龍之介 (2M)	予選敗退
200m自由形	池田虎太郎 (2I)	予選敗退
400フリーリレー	(吉田, 池田, 佐々木, 今野)	予選敗退
◎東北地区高専新人大会 (バスケットボール)		
	福島高専 17-35 仙台高専名取	
	福島高専 26-32 仙台高専広瀬	
	福島高専 33-32 一関高専	

福島高専 8-34 八戸高専	
福島高専 16-30 秋田高専	
福島高専 11-31 鶴岡高専	
◎福島県高等学校選抜剣道優勝大会	
男子団体	1回戦敗退
◎第53回東北地区高等専門学校体育大会ラグビー競技	
	1回戦敗退

文化 部

■写真部

◎第35回福島県高等学校総合文化祭写真展

「発展の立役者達」	磯上 花音 (3I)	優秀賞
「闇夜照らして明日へ舞う」	今井 志信 (3C)	優秀賞
・いわき街なかコンサート撮影		実施
・裏磐梯紅葉撮影会		実施

◎平成28年度いわき地区高等学校写真連盟写真展

「踏み出す決意」	磯上 花音 (3I)	特選
「発展の立役者」	磯上 花音 (3I)	準特選
「闇夜照らして明日へ舞う」	今井 志信 (3C)	準特選
「凄麗の舞」	磯上 花音 (3I)	入選
「Kick' n' Roll」	今井 志信 (3C)	入選
「孤高なる女王」	安藤 純奈 (3K)	入選
「父の写真機に馳せる」	今井 志信 (3C)	佳作

◎第23回東北地区高等専門学校文化部発表会

写真部門

「踏み出す決意」	磯上 花音 (3I)	特選
「虚構の電波塔」	今井 志信 (3C)	入選
「逃げろ！」	磯上 花音 (3I)	入選

撮影会

- ・冬の裏磐梯撮影会 (12月)
- ・第4回全国学生フラ・フェスティバル撮影会 (2月)
- ・冬の会津・裏磐梯撮影会 (3月予定)
- ・タウンマガジンいわき撮影協力
 - 2月号 (成人式撮影)
 - 3月号 (サンシャインマラソン撮影)

フリーペーパー寄稿

- ・フリーペーパー高校生通信Vol16-11「Gallery」連載

写真集

- ・第2フラガールズ甲子園アリオス写真展フォトブック発行
- ・第3フラガールズ甲子園アリオス写真展フォトブック発行
- ・第4フラガールズ甲子園アリオス写真展フォトブック発行
- ・第5フラガールズ甲子園アリオス写真展フォトブック発行
- ・第6回フラガールズ甲子園最優秀校フォトブック発行
- ・街コン写真展2014 in Aliosフォトブック発行
- ・街コン写真展2015 in Aliosフォトブック発行
- ・街コン写真展2016 in Aliosフォトブック発行
- ・H28年度いわき地区高等学校写真連盟写真集「写真」vol19 発行

■その他

◎全国高等専門学校デザインコンペティション2016in Kochi

【構造デザイン部門】	
・チーム1	
作品名「catenaridge」	
鹿又 善憲・高木 芽依・松崎由季乃	
原田 真衣・草野 泰治・金野 実紗	第35位

・チーム2

作品名「COPPER GO」	
原田 一宏・飯高 優翔・岩崎 幸乃	
佐藤 玄佳	第48位

【空間デザイン部門】

作品名「足湯でまちも心も身体もぽっかぽっかにすっぺ」	
大浦 悠・原 匡彦・山野辺百花	
吉田 大輝・四倉 悠介	予選敗退

■吹奏楽部

・第38回定期演奏会	実施
◎第44回福島県アンサンブルコンテストいわき支部大会	
打楽器四重奏	参加
クラリネット六重奏	銀賞
	銅賞

■茶華道部

・いわき学校茶道連盟第41回合同発表会	参加
---------------------	----

■将棋部

◎第25回全国高等学校将棋新人大会福島県大会

瀧田 大地 (2M)	2回戦敗退
鈴木 涼佑 (1C)	1回戦敗退

■演劇部

◎第59回いわき地区高等学校演劇コンクール

■ロボット技術研究会

◎アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2016東北地区大会

・Aチーム「TBC」(Cは○囲み)	
鳥羽 祐丘・高橋 諒太・強口 藍子	2回戦敗退
	退技術賞受賞 (全国大会出場)

・Bチーム「T. T. T」

武田 亮完・国井 陽気・花塚 彩乃	1回戦敗退
-------------------	-------

◎アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2016全国大会

・Aチーム「TBC」(Cは○囲み)	
鳥羽 祐丘・高橋 諒太・強口 藍子	1回戦敗退

■ソフトウェア研究会

◎全国高等専門学校第27回プログラミングコンテスト

【競技部門】

チーム名「ももくりさんねんかきはねん」	
大田 晃平 (5E)・櫛田 渉 (5E)・小助川克也 (3E)	1回戦第5位
	準決勝進出
	準決勝第10位

■分子生物学愛好会

◎第9回先端ものづくりチャレンジ2016 in 習志野

【ロボット競技部門】

チーム名「堀越くまさんN02」	
ロボット名「きゃりーペンペン F」	
鈴木 琴乃・門井真理乃	準優勝

■ストリートダンスサークル

・いわき街なかコンサート inTAIRA2016	参加
・Dance@live Rize 東北	出場

■英語サークル

◎第10回東北地区高等専門学校英語スピーチコンテスト

猪股 未来 (3I)	出場
石島 雫 (2I)	出場
	(入賞なし)

第1回廃炉創造ロボコン開催



開会式の様子



表彰を受ける福島高专チーム

文部科学省及び廃止措置人材育成高专等連携協議会（会長：福島高专校長）が主催する「第1回廃炉創造ロボコン」が12月3日（土）、日本原子力研究開発機構櫛葉遠隔技術開発センターを会場に開催され、全国の国公立高专から13校15チームが参加しました。各チームとも工夫を凝らしたロボットを製作し、原子炉建屋内を想定したフィールドで競技に臨みました。

福島高专チームのロボット「Hairon（ハイロン）」は、5kgの荷物を載せて階段を上る課題に挑みましたが、学校の階段よりも急勾配な階段に苦戦し、思うような結果を残せないままタイムアップとなりました。



競技フィールドの「モックアップ階段」

しかし、メインクローラーとサブクローラーを組み合わせたアイデアが高く評価され、特別賞である「株式会社アトックス賞」を受賞することができました。

廃炉創造ロボコンは平成29年12月16日（土）に第2回の開催を予定しています。

（OECD/NEA）ウィリアム・マグウッド事務局長が福島高专を視察

経済協力開発機構／原子力機関（OECD／NEA）ウィリアム・マグウッド事務局長は、12月2日、本校を視察しました。

当日は、中村校長から本校の概要説明、廃炉人材育成事業実施担当教員から事業概要と進捗状況について説明があり、学生からは同事業に係るグローバル化の推進で実施された海外原子力関連施設の実地視察の報告も行われました。

また、来年4月に原子力関連企業等に就職が内定している学生等との懇談が行われ、同事務局長からは学生へ、激励の言葉がかけられました。

また、午後からは、翌3日に櫛葉町の日本原子力研究開発機構櫛葉遠隔技術開発センターで開催する「第1回廃炉創造ロボコン」の会場を訪れ、各高专の参加ロボットのテストランを見学するとともに選手達を激励しました。



参加者との集合写真



学生との懇談の様子

中学生対象「わくわく体験授業」の実施

男女共同参画・キャリア教育支援室 男女共同参画担当責任者 山田 貴浩（電気工学科）

今年度の「わくわく体験授業」が10月8日（土）と10日（月）の2日間で開催されました。これまで女子中学生を対象としたものでしたが、今回から男子中学生も参加できるようになりました。参加者は1日目が37名（男子15名・女子22名）、2日目が40名（男子22名・女子18名）でした。今回開講した授業は以下の通りです。

1日目

- ・英語（市川先生）「洋楽を聴いて英語を学ぼう！」
- ・物質工学（押手先生）「化学技術を使って物質を分けてみよう!! ～物質分離の基礎～」
- ・機械工学（鈴木先生）「鋳造でキーホルダーを作ってみよう!!」

2日目

- ・ビジネスコミュニケーション学（芥川先生・エリカ先生）「Couch potato English」
- ・電気工学（植先生・豊島先生）「回路をつないで楽器をつくる ～カンタン電子楽器製作～」
- ・建設環境工学（高荒先生）「水って、たいせつ！」

各授業では担当教員が準備した特徴ある授業が展開され、在学学生も補助員として活躍しました。参加者へのアンケートの結果では全員が「受けて良かった」と答え、いずれの授業も好評でした。



「キャリアCafé」の開催

「キャリアCafé」とは、学生が地元企業の企業活動だけでなく実際の仕事内容や就職、インターンシップに対する不安などについて気軽に相談出来る機会になっています。そのため、地元企業の主に若手社員の方にご協力頂き、写真のような本校学生が気楽に交流できるような雰囲気を作ることに努めています。今年度は計4回開催し、各回とも福島高専協力会会員企業を中心として毎回約10社にご参加頂き、学生も20人程度参加しました。平成29年度以降も引き続き「キャリアCafé」の開催を予定しています。

「キャリアCafé」は、COC+事業「ふくしまの未来を担う地域循環型人材育成の展開」の一環として福島高専のオリジナルの取組みとして実施しているものです。具体的には、東日本大震災及び原子力災害からの復興に取り組む福島県において、地域復興の担い手となる若者の地元就職率向上および新規産業の振興による雇用拡大を目標としています。



原子力規制庁・原子力規制人材育成事業を開始

同事業は、放射能汚染からの地域の環境回復や放射性廃棄物の処理・処分が福島県の重要な課題となっていることから、高専の準学士課程・専攻科課程の7年間にわたる教育プログラムを構築して人材育成を実施するもので、これによって、原子力発電所事故による放射能汚染からの地域の環境を回復するという地域課題に取り組み、環境モニタリングや環境放射能量の低減化手法などの知識や技術を修得して、地域の環境回復に貢献するとともに、放射線利用における安全性に配慮できる人材の育成を目的として、今後5年間継続されます。

この事業のキックオフフォーラムを一般市民、企業関係者、本校学生及び教職員約80名が参加し、1月16日（月）に本校において、開催しました。フォーラムでは、中村校長から主催者挨拶、実施責任者の原田副校長から事業内容紹介があった後、福島県環境創造センター 副所長佐藤弘美氏、日本原子力研究開発機構福島環境安全センター長宮原要氏、国立環境研究所福島支部研究グループ長林誠二氏から事業に関連する講演が行われ、それぞれに活発な質疑応答が行われました。

今後、数十年以上かかると言われている地域の環境回復に向け、同事業の成果が期待されます。

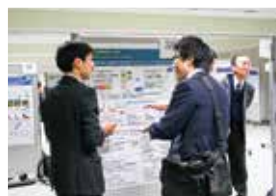


専攻科特別研究公開発表会

専攻科特別研究公開発表会が3月7日に地域フォーラム第1部として、いわき市生涯学習プラザで、企業や市民、本校教職員の参加を受けて開催されました。この発表会は、専攻科修了の総まとめとして取り組んできた特別研究の成果をひろく地域の方々に知ってもらう目的で開催しているものであり、当日は44名の専攻科2年生がポスターを用いた発表を行いました。

学生は普段から、学内での発表や学外の学会等での発表などの機会を利用してそれぞれの専門分野の研究成果を紹介していますが、今回の発表会では一般の方にも平易でわかりやすく説明する必要があると、これまでとは多少雰囲気異なる中での発表体験になったのではないかと思います。高専生活最後のプレゼンテーションとしてそれぞれに7年間の思いを込めた発表でした。

第3部の交流会では、ビジネスコミュニケーション学専攻2年の神尾 真さんのプレゼンテーション「日本の電力政策の一考察」に対して、中村校長先生から優秀ポスター賞が贈呈されました。



福島浜通りグローバル人材育成事業事後報告会



平成28年度留学生13名の内、7月～10月までに留学を終えた12名が帰国し、それに伴い11月12日（土）産業創造館ラトプで事後報告会を開催いたしました。参加者は福島浜通りグローバル人材育成事業推進協議会員及び同運営委員・留学生のインターンシップにご協力いただいた企業関係者・ご寄附をいただいた企業の皆様・日本学生支援機構トビタテ!留学JAPAN地域人材コース担当者及び次年度留学を希望する学生の計60名ほどの参加がありました。

留学生は事前インターンシップ及び留学して学んだこと、つらかったこと等を発表して、その後参加者から質問をいただき、和やかなうちに終了しました。



退職者ご挨拶



建設環境工学科 山ノ内正司

私の小学校時代の憧れは大工さんだった。あの「シューツ」というカンナ掛けの音がなんとも言えなかった。中学3年の時、担任の先生に高専を勧められ、大工に最も近いのは土木工学科だろう、と迷わず志望学科を決めた。

かなりピント外れの志望動機だったが、土木工学科4回生として入学した。これが私と福島高専との出会いであった。他学科の友人から「土木屋さん」と呼ばれるのが不思議と心地よかった。

高専生活5年の後、大学編入学、大学院と進み、マスター2年の時、恩師の志賀宣郎先生から母校教員の話があり、教員生活が始まったのが、昭和54年。以来、38年が過ぎた。夜遅くまで卒業研究の実験や解析をやったり、担任としてクラス学生との交流を深めたり、そしてサッカー部員とは、ゴールを決めては喜んで、負けて悔し涙を流したり、このような学生さんたちと同じ時間を同じ気持ちで過ごせた喜びが、38年の教員生活を支えていた。大工さんでもなく、土木屋さんでもなく、高専教員が天職だったのかもしれない。

この3月で定年という一つの区切りを迎えるが、あと2年、もう少し人づくりのお手伝いをさせて頂くことになる。



事務部長 堀川 俊行

平成26年4月、縁あって福島高専に参りまして早3年が経過しようとしています。この間、仕事として特に印象に残ったことは、平成28年4月からのコミュニケーション情報学科、平成29年4月からの工学系4学科の改組に

携わったことです。周知のとおり、高専は国内のみならず、国外からも高い評価を得ています。このような状況の中、これまでの福島高専の実績を踏まえて、将来を担う人材の育成のために、教育の根幹を成す学科の名称を改めるとともに、教育内容の高度化を図るものとなっています。教職員と学生の皆さんが一丸となって改組の目的を達せられるよう期待をしています。

最後になりますが、福島高専の勤務をもって定年を迎えます。この間、多くの人と出会い、その方々から数々の人の教えを頂きました。これらの事を財産として、第二の人生を歩んで行きたいと思います。お世話になりました教職員の皆様、構内ですれ違った際にあいさつを交わしてくれた学生の皆さんに、この場をお借りして、改めまして御礼を申し上げます。

追伸:本校では、「いわきから世界に活躍するイノベーション人材を育てる」をスローガンに掲げています。つくばから、学生の皆さんの飛躍を祈っています。



一般教科

カーン ムハマド アジマル

My dear students and teachers, as you know that I will join Riken on April 01, 2017 and will start new research on the growth and characterization of Deep Ultraviolet InAlGaN Light Emitting Diodes. Thanks to Iwaki and especially to Fukushima

Kosen for being kind and for being supportive during my stay as an associate professor. I had a great experience during the teaching of Technical English to my students of business communication, Engineers, Scientists and social scientists at Fukushima Kosen. We need a strong communication among the English teaching staff to make a good English teaching team for the engineers and social scientists of Fukushima Kosen. In order to enhance and promote the English communication skills of the students, we need to develop some platform for practical English learning using e-learning resources like BBC Learning English, NHK world and BBC news. I humbly present few important suggestions to further improve the English communication skills of the students for preparedness of global communication: One teacher from each Civil, Mechanical, Electrical, Business Communication and Chemistry to work with one professor from the Global English Communication project team and then to organize a mini English conference at Kosen once a year for 4th grade and 5th grade students of all technologies and disciplines. We need to give some rewarding grade or 15% marks as a reward plus some awards to encourage the English speaking students, after their successful power point preparation. Secondly, we need to support English Café for better communication and it should be equipping with 10 to 15 % marks to ensure their participation in the practical English learning.

I am also very thankful to the JINJI office as well as International affairs division of NIT-FC for their incredible help and support. I am also very thankful to all teachers and students, who put up with my poor Japanese language skills.

Last but not least, here I would like to quote few motivational words for my students, "In life, NO ONE and NOTHING will help you until you start helping YOURSELF. Time can be either your best friend or your worst enemy depending on whether you use it or you waste it." I wish you all a successful and healthy life in your future endeavors.



一般教科 磯上 慎二

これまで7年間、大変お世話になりました。教職員の皆様のおかげでかけがえのない多くの経験をさせて頂きました。また学生に教える立場でありながら、実は教わっていた事の方が多かった気もしています。心より感謝申

上げます。

私はこの4月から、国立研究開発法人物質・材料研究機構、磁性・スピントロニクス材料研究拠点に着任します。福島高専から頂いた貴重な経験を原動力としてイノベーションの追求をしてまいります。

最後になりましたが、皆様のご健勝と福島高専のますますのご発展を祈念しております。本当にありがとうございました。



一般教科 市川 誠

この度、いわきを離れ、北海道山越郡長万部町にある東京理科大学基礎工学科長万部校舎に移籍することになりました。長万部キャンパスは、基礎工学部の1年生が学ぶ東京理科大学唯一の全寮制キャンパスです。

東日本大震災から約1年経過した2012年4月から2017年3月までの5年間、福島高専でいろいろな経験を積むことができました。福島高専の経験を新天地でも活かして行きたいと思います。5年間本当にありがとうございました。

退職者紹介

氏 名	所属・職名	新 任 地
櫻井 重範	総務課 課長補佐（財務担当）	茨城大学工学部事務長補佐
川崎 修平	総務課 施設管理係長	東北大学病院 施設企画室 営繕係長

新任教職員紹介



物質工学科 佐藤 佳子

この度、海洋研究開発機構より、1月から赴任して参りました佐藤佳子と申します。研究生活に入っすでに四半世紀を過ぎ、新たに出身地の郡山に近い福島高専での教育研究の機会を得ました。教職も16年ぶりです。多少のブランクがありますが、研究所でも共同研究で学生さん達の研究指導をして参りました。専門は、質量分析技術を用いた同位体地球化学～環境科学ですので、工学系の先生方や学生さんとの異文化コミュニケーションも含め、教育研究を進めていきたいと存じます。どうぞ宜しくお願い致します。



物質工学科 十亀 陽一郎

昨年11月1日付で本校物質工学科に着任しました十亀陽一郎と申します。様々な活動を通じて少しでも皆さんの力になればと思っています。宜しくお願い致します。

私は、これまで、生物の環境ストレスに対する耐性機構の研究を行ってきました。福島高専は、実験設備が大変充実しており、研究分野も多岐に渡ります。この特色を生かし、学生の皆さん、様々な研究分野の先生方、地域の方々と協力して、何か面白いことを見つけて追求したいと思っています。



一般教科
ニコラス アンドリュー
アイビンス

本年1月1日付けで一般教科(英語)に着任しましたNicholas Ivinsです。Please call me Nick!

私はイギリスのバーミンガム出身です。日本に来てから30年経ちました。その間にいろいろな業界で仕事をしてきました。趣味はきのこ天文学と地質学なので高専で様々な研究ができると思います。

今回、Global Kosenになった本校で日本一英語の勉強が出来るだけではなく日本一英語が話せる(生徒、先生、Everybody!) 学校作りを目指したいと思っています。どうぞよろしくお願いします。



総務課調達係 石川 裕麻

昨年11月1日付で総務課調達係に着任しました石川裕麻と申します。

秋田県の大曲出身で大学卒業後はいわき市内の会計事務所で「経理」や「中小企業の経営コンサルティング」に従事してきました。いわきでの生活は今年で9年目になりますが、お世話になったこの地に対して人材育成という観点から貢献したいと考えています。まだまだ未熟な点ばかりですが、学生や教職員の方との出会い・繋がりを大切にし、日々自己研鑽に励んでまいります。今後どうぞよろしくお願い致します。

氏 名	所属・職名
小澤 里美	総務課 調達係
金成 郁美	総務課 調達係

平成29年4月に工学系4学科をそれぞれ改組（名称変更）して、イノベーション・コースト構想（東日本大震災からの復興、廃炉等）への対応、世界に活躍するグローバル人材の育成、創意工夫ができるイノベーション人材の育成を行います。これは、平成27年度の3専攻から2専攻多コース制への専攻科改組、平成28年度のコミュニケーション情報学科のビジネスコミュニケーション学科への改組に続くもので、社会環境の変化、社会及び学生のニーズの変化に対応した切れ目ない改革を行うことを目的としています。

それぞれの新しい学科は、2系列を有するものになっております。ここでいう系列は、一般のコース制とは異なり、そこに所属するのではなく、取得する科目群によって分類されるもので、専門基礎科目を重視しつつも、学生が主体的に選択できる科目を増やし、キャリアパスをデザインできるSelf Career Design制度を全学科に導入します。

持続可能な建設技術を基礎に、社会基盤施設の維持・管理分野や自然災害に対する防災・減災分野で活躍できる
シビルエンジニアの育成を目指します。



高等学校等就学支援金

高等学校等就学支援金制度とは、家庭の状況にかかわらず、全ての意志ある高校生等が安心して勉学に打ち込める社会をつくるため、国の費用により、生徒の授業料に充てる高等学校等就学支援金を支給し、家庭の教育費負担を軽減するものです。

国立高等専門学校（第1学年～第3学年）も就学支援金制度の対象となっており、月額9,900円（年額118,800円）の就学支援金が支給されますが、平成26年4月の入学者からは所得制限を設けた新制度が実施されております。

支給期間は原則として通算36月となっております。また、保護者の所得に応じて一定額が加算される加算支給制度もあります。

なお、就学支援金は市町村民税所得割額を基準に支給されるため、保護者等の失職、倒産等家計急変したときにすぐ反映されない場合があります。その場合、就学支援金制度とは別に、「家計急変支援金制度」の対象となる場合がありますので、詳しくは学生課学生支援係にお問い合わせ下さい。

授業料免除制度

授業料の免除は、経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合に、前期・後期ごとに本人の申請（前期の授業料の免除申請の際に併せて、後期の申請も可能です。）に基づき選考のうえ、授業料の全額又は半額を免除する制度です。選考は免除選考基準により、家計・学力・人物について学生委員会で審議します。

経済的理由による授業料免除の対象となるのは、4年生・5年生・専攻科生となります。

3年生以下につきましては、左記の高等学校等就学支援金制度が適用されるため、経済的理由による授業料免除の対象とはなりません。（ただし、授業料の各期の納付期限前6月以内の学費負担者死亡等、特別な事情が発生した場合は、例外的に授業料免除の対象となることがあります。）

経済的理由による授業料免除の申請時期は、前期分は3月下旬、後期分は9月中旬となっておりますが、事前の説明会で免除申請用紙を配付し、併せて申込み締切り日についてお知らせします。なお、説明会の日程については、掲示・放送および学級担任・専攻科コース長からお知らせします。

奨学制度・授業料免除制度・高等学校等就学支援金についてのお問い合わせは 学生課学生支援係まで TEL 0246-46-0736

平成29年度 行事予定(前期)

4月

- 3日(月) 開寮(13:00)
- 4日(火) 入学式(本科・専攻科・編入学生)
新入寮生歓迎夕食会
- 5日(水) 始業式
新入生オリエンテーション
専攻科ガイダンス
交通安全教室(1年)
- 6日(木) 前期授業開始
- 12日(水) 全校・校外清掃日、寮防災訓練(1年)
- 19日(水) 基礎学力標準試験(化学)(工学系4学科の3年生対象)
- 20日(木) 定期健康診断(臨時休講)
- 22日(土) 新入寮生歓迎行事
- 27日(木) 開校記念日
- 29日(土) 公開授業

5月

- 8日(月)～12日(金) 専攻科推薦入試願書受付
- 10日(水) 後援会総会・学級懇談会・寮保護者個別面談会
- 20日(土) 専攻科推薦入試
- 22日(月)～6月2日(金) 前期中間試験期間
- 25日(木) 共通科目試験日
- 31日(水) 共通科目試験日

6月

- 5日(月)～9日(金) 専攻科学力入試願書受付
- 14日(水) 学級委員長との懇談会
- 17日(土) 専攻科学力入試
- 30日(金)～7月2日(日) 東北地区高専体育大会

7月

- 3日(月) 学生臨時休業
- 5日(水) 交通安全教室(3年)
- 12日(水) 消費生活安全教室(5年)
- 12日(水)～14日(金) 編入学(推薦)願書受付
- 19日(水) インターンシップ事前指導会(4年)
- 22日(土) 編入学試験(推薦)
- 25日(火)～31日(月) 前期期末試験

8月

- 2日(水) 集会、教室整備
- 2日(水)～4日(金) 編入学(学力)願書受付
- 4日(金) 補講日、体験入学準備日
- 5日(土)～6日(日) 体験入学
- 9日(水) 寮大掃除
- 9日(水)～9月25日(月) 夏季休業
- 10日(木) 閉寮(10:00)
- 11日(金)～16日(水) 学校閉鎖
- 17日(木) 開寮

9月

- 5日(火) 編入学試験(学力)
- 26日(火) ミニ研究準備・発表会
- 27日(水) 集会、寮防災訓練、専攻科集会
- 28日(木) TOEIC-IP試験(4年)
- 29日(金) 校内体育大会

編集後記

学校だより102号が発刊となります。お忙しい中、一方的なお願いも聞き入れてくださり、原稿を寄せてくださった多くの皆様に感謝いたします。編集を終えて、ほっと一息ついてます。それにしても学校だよりに写っている学生の写真はいずれも楽しそうです。本校での学生生活に満足して巣立ってくれたのでしょうか。学生生活がそれぞれの人生において良き思い出となってくれることを期待したいです。

広報委員長 原田正光

